

何によって知ったか

質問 11 あなたが、「被差別部落」や「部落問題」について初めて知ったのは、どのようにしてですか。あてはまるものを選んでください。(1つ)

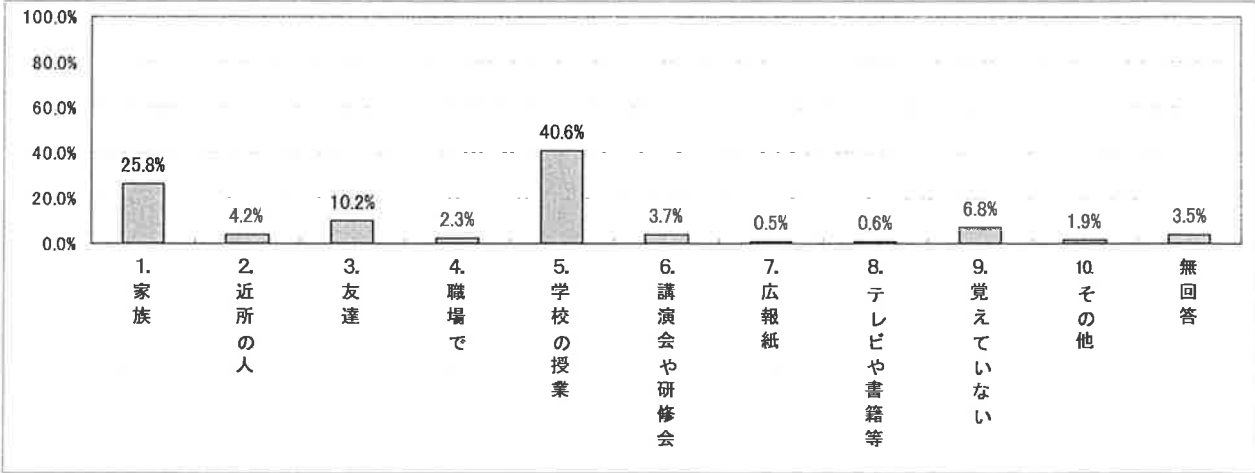
- 1 父母や家族から聞いた。
- 2 近所の人から聞いた。
- 3 学校の友達から聞いた。
- 4 職場の人から聞いた。
- 5 学校の授業で教わった。
- 6 講演会や研修会などで聞いた。
- 7 県や市町村の広報紙で読んだ。
- 8 テレビ・新聞・本などで知った。
- 9 おぼえていない。

この質問は、「被差別部落」や「部落問題」を知った経緯について問うている。

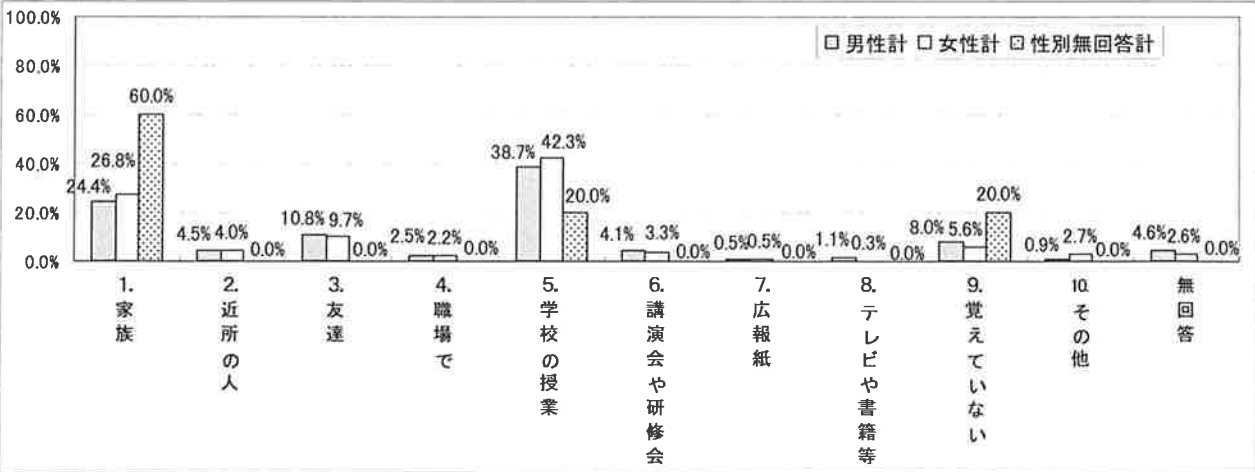
質問 11		1. 家族		2. 近所の人		3. 友達		4. 職場で		5. 学校の授業	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20才代	男	6	6.7%	0	0.0%	3	3.4%	1	1.1%	71	79.8%
	女	4	3.7%	0	0.0%	3	2.8%	1	0.9%	89	83.2%
	計	10	5.1%	0	0.0%	6	3.1%	2	1.0%	160	81.6%
30才代	男	14	12.8%	1	0.9%	5	4.6%	1	0.9%	79	72.5%
	女	9	7.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.8%	110	85.3%
	計	23	9.7%	1	0.4%	6	2.5%	2	0.8%	189	79.4%
40才代	男	22	19.6%	3	2.7%	8	7.1%	0	0.0%	71	63.4%
	女	37	25.7%	0	0.0%	5	3.5%	1	0.7%	90	62.5%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
	計	59	23.0%	3	1.2%	13	5.1%	1	0.4%	162	63.0%
50才代	男	49	42.2%	2	1.7%	18	15.5%	8	6.9%	16	13.8%
	女	64	43.8%	6	4.1%	22	15.1%	5	3.4%	24	16.4%
	計	113	43.1%	8	3.1%	40	15.3%	13	5.0%	40	15.3%
60才代	男	39	32.2%	7	5.8%	26	21.5%	5	4.1%	11	9.1%
	女	53	36.8%	10	6.9%	28	19.4%	7	4.9%	12	8.3%
	計	92	34.7%	17	6.4%	54	20.4%	12	4.5%	23	8.7%
70才以上	男	29	27.9%	16	15.4%	10	9.6%	1	1.0%	4	3.8%
	女	42	38.2%	15	13.6%	17	15.5%	2	1.8%	5	4.5%
	計	71	33.2%	31	14.5%	27	12.6%	3	1.4%	9	4.2%
年代性別無回答		3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	男性計	159	24.4%	29	4.5%	70	10.8%	16	2.5%	252	38.7%
	女性計	209	26.8%	31	4.0%	76	9.7%	17	2.2%	330	42.3%
	性別無回答計	3	60.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%
	合計	371	25.8%	60	4.2%	146	10.2%	33	2.3%	583	40.6%

6. 講演会や研修会		7. 広報紙		8. テレビや書籍等		9. おぼえていない		10. その他		無回答		合計
										人数	割合	
2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.6%	0	0.0%	1	1.1%	89
0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	4	3.7%	4	3.7%	1	0.9%	107
2	1.0%	1	0.5%	0	0.0%	9	4.6%	4	2.0%	2	1.0%	196
3	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.8%	2	1.8%	1	0.9%	109
1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.6%	3	2.3%	1	0.8%	129
4	1.7%	1	0.4%	0	0.0%	5	2.1%	5	2.1%	2	0.8%	238
2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.8%	1	0.9%	3	2.7%	112
2	1.4%	0	0.0%	1	0.7%	5	3.5%	2	1.4%	1	0.7%	144
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
4	1.6%	0	0.0%	1	0.4%	7	2.7%	3	1.2%	4	1.6%	257
2	1.7%	0	0.0%	2	1.7%	14	12.1%	1	0.9%	4	3.4%	116
6	4.1%	0	0.0%	1	0.7%	9	6.2%	4	2.7%	5	3.4%	146
8	3.1%	0	0.0%	3	1.1%	23	8.8%	5	1.9%	9	3.4%	262
8	6.6%	1	0.8%	5	4.1%	12	9.9%	1	0.8%	6	5.0%	121
10	6.9%	1	0.7%	0	0.0%	12	8.3%	3	2.1%	8	5.6%	144
18	6.8%	2	0.8%	5	1.9%	24	9.1%	4	1.5%	14	5.3%	265
10	9.6%	2	1.9%	0	0.0%	16	15.4%	1	1.0%	15	14.4%	104
7	6.4%	1	0.9%	0	0.0%	12	10.9%	5	4.5%	4	3.6%	110
17	7.9%	3	1.4%	0	0.0%	28	13.1%	6	2.8%	19	8.9%	214
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
27	4.1%	3	0.5%	7	1.1%	52	8.0%	6	0.9%	30	4.6%	651
26	3.3%	4	0.5%	2	0.3%	44	5.6%	21	2.7%	20	2.6%	780
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
53	3.7%	7	0.5%	9	0.6%	97	6.8%	27	1.9%	50	3.5%	1,436

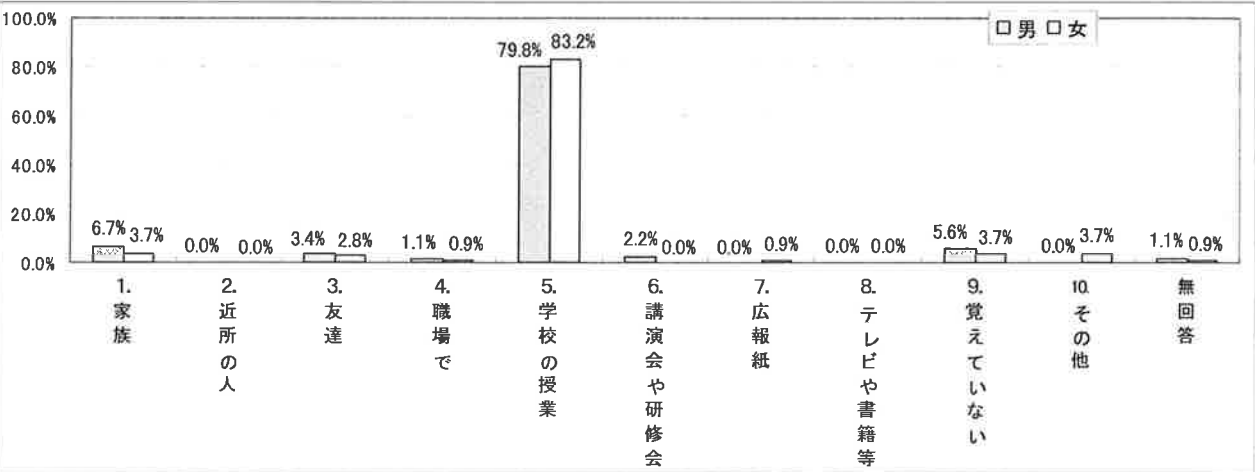
全体



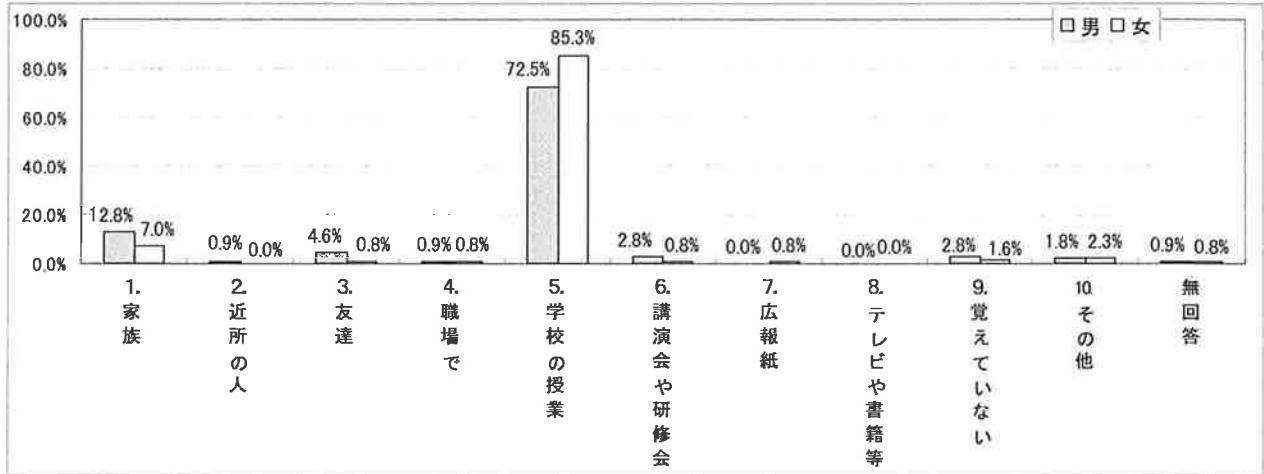
男女別全体



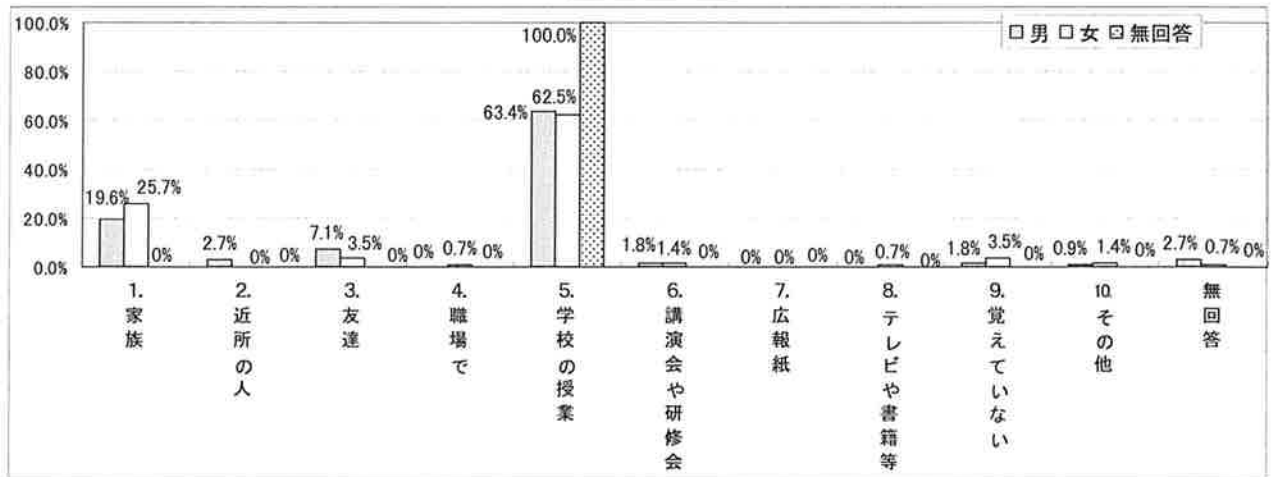
20才代



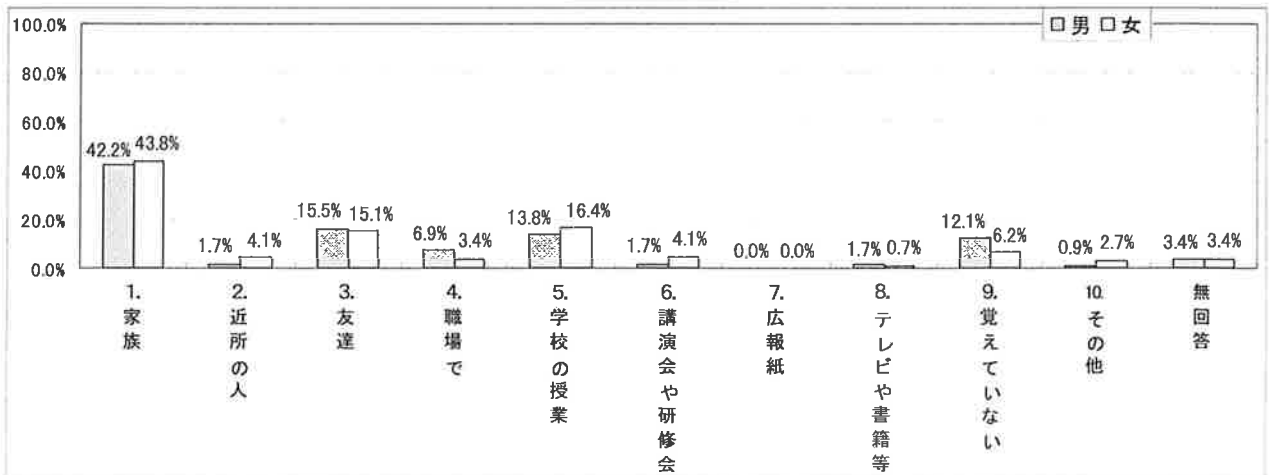
30才代



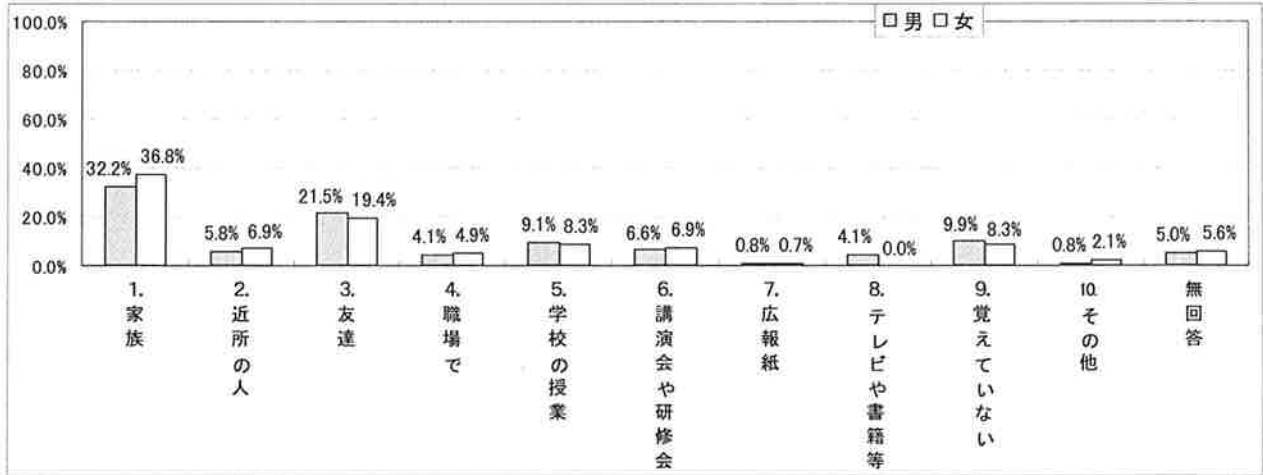
40才代



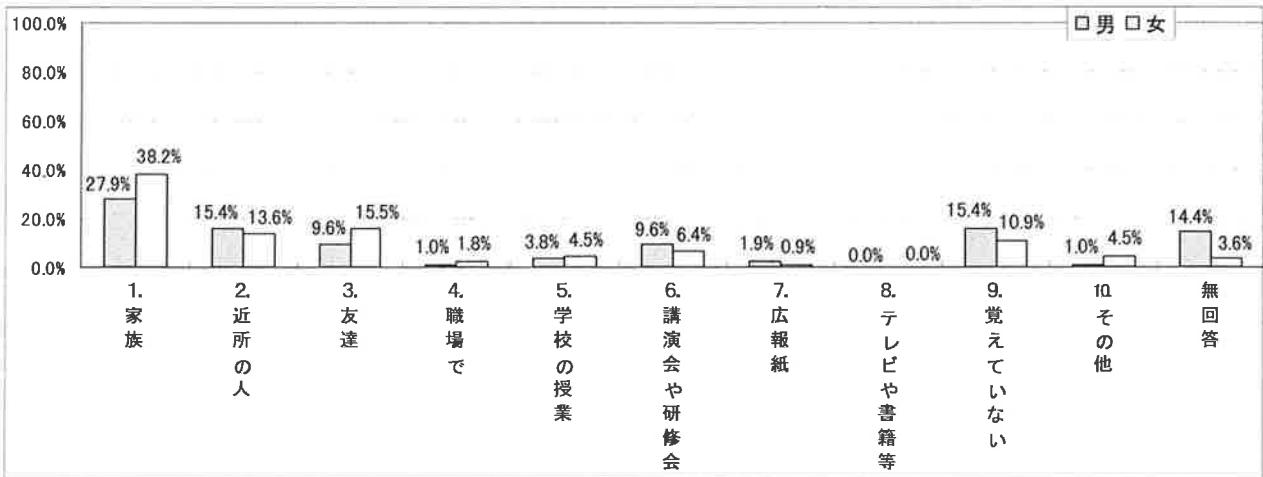
50才代



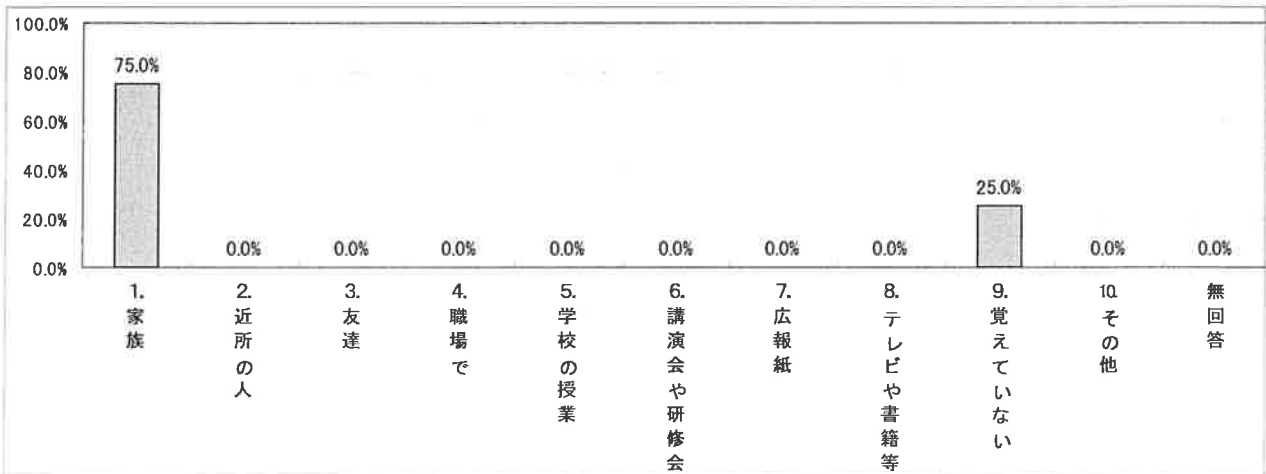
60才代



70才以上



年代性別無回答



<分析>

- 全体では、「学校の授業」が40.6%と最も高く、次いで「父母や家族」が25.8%となっている。この傾向は男女別で見ても同様の比率である。
- 年代別では、20才代～40才代までと50才代以上では大きな差が見られる。
20才代～40才代までの74.9%の人は「小学生の頃」に初めて知り（質問10の結果より）、同年代の74.0%の人は「学校の授業」で知ったと答えている。
そして、50才代以上の62.3%の人が「小・中学生の頃」に初めて知り（質問10の結果より）、同年代の61.1%の人が「父母や家族」、「近所の人」、「友だち」から聞いて知ったと答えている。
- 年代男女別で見ると、「学校の授業」は30才代女性の85.3%が年代男女中最も高く、同年代男性より12.8ポイント高い。
「父母や家族」は50才代女性43.8%が最も高い。70才以上では、女性の38.2%は男性より10.3ポイントと特徴的に高い。

【質問11（部落問題を知った経緯）の回答1（父母や家族）、5（学校の授業）と、質問13（部落問題をどんなときに気にするか）との関連】

[質問13の内容]

あなたは部落問題をどんなときに気にしますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つ)

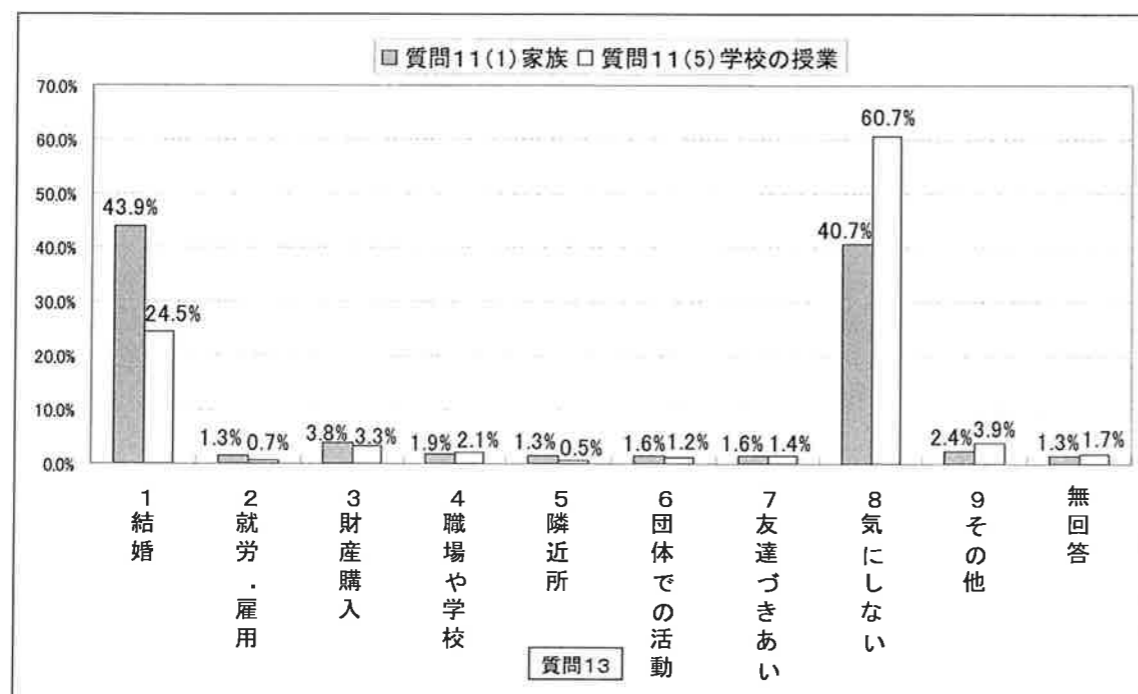
1. 結婚を考えたとき。
2. 就労・雇用するとき。
3. 土地や家などの財産を購入するとき。
4. 職場や学校でつきあいをするとき。
5. 隣近所でつきあいをするとき。

6. 町内会、自治会、PTA、女性部などの団体に活動するとき。
7. 友だちづきあいをするとき。
8. 気にしない。
9. その他

このクロス集計では、被差別部落や部落問題を「父母や家族」と「学校の授業」で知った人の間での、「部落問題をどんなときに気にするか」という意識の傾向をみた。

質問11	質問13		1 結婚		2 就労・雇用		3 財産購入		4 職場や学校		5 隣近所	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家族	163	43.9%	5	1.3%	14	3.8%	7	1.9%	5	1.3%		
5. 学校の授業	143	24.5%	4	0.7%	19	3.3%	12	2.1%	3	0.5%		

質問13	6 団体での活動		7 友達づきあい		8 気にしない		9 その他		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. 家族	6	1.6%	6	1.6%	151	40.7%	9	2.4%	5	1.3%	371
5. 学校の授業	7	1.2%	8	1.4%	354	60.7%	23	3.9%	10	1.7%	583
											954



<分析>

○ 被差別部落や部落問題を「父母や家族」から聞いて知った人の43.9%が、部落問題を「結婚を考えたとき」気にすると答え、「学校の授業」で知った人の24.5%より19.4ポイント高い。一方、「学校の授業」で知った人の60.7%は部落問題を「気にしない」と答え、「父母や家族」から知った人の40.7%より20.0ポイント高い。「父母や家族」から知った人の方が部落差別意識を強く持っているといえる。他の項目については、その割合・差とも小さい。

【質問11（部落問題を知った経緯）の回答1（父母や家族）、5（学校の授業）と、質問15（結婚についてどう思うか）との関連】

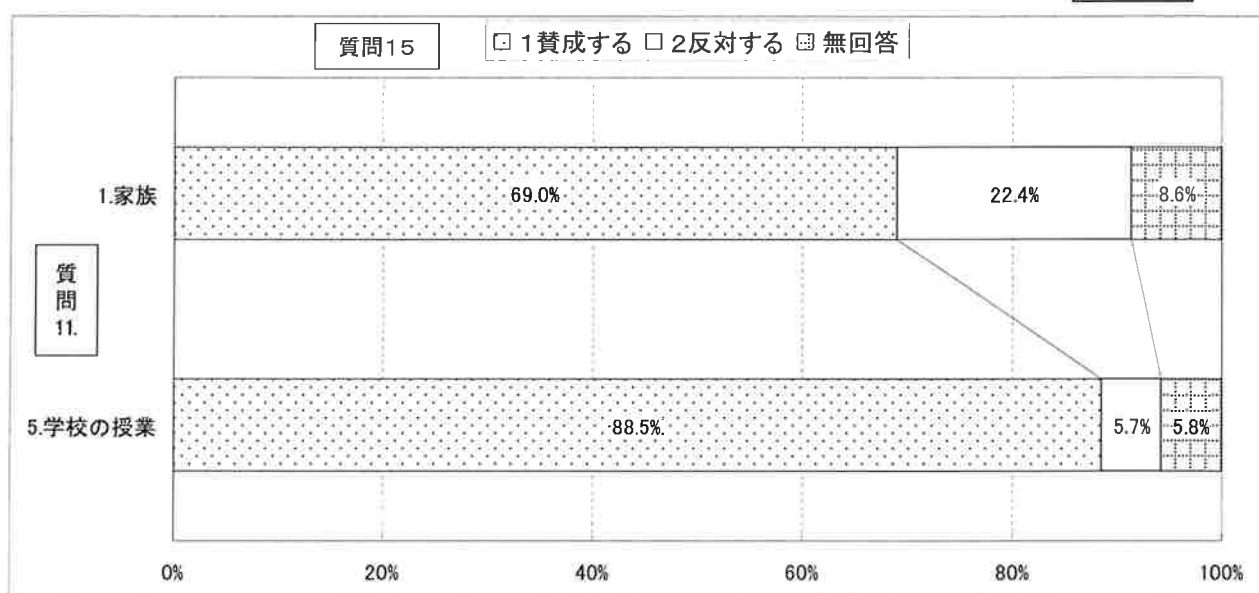
[質問15の内容]

結婚は両性の合意により成立するのが当然ですが、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚について、あなたはどのように思いますか。

1. 賛成する（結婚する）
2. 反対する（結婚しない）

このクロス集計では、被差別部落や部落問題を「父母や家族」と「学校の授業」で知った人の間での、「被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚」に対する意思について傾向をみた。

質問11 \ 質問15	1 賛成する		2 反対する		無回答		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1. 家族	256	69.0%	83	22.4%	32	8.6%	371
5. 学校の授業	516	88.5%	33	5.7%	34	5.8%	583
							954



<分析>

○ 被差別部落や部落問題を「父母や家族」から聞いて知った人は、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚について、「賛成する」は69.0%、「反対する」は22.4%である。

一方、「学校の授業」で知った人は、「賛成する」は88.5%と「父母や家族」から知った人より19.5ポイント高く、「反対する」は5.7%と16.7ポイント低い。最初の認知経路である「父母や家族」では約7割、「学校の授業」で約9割が結婚に「賛成する」としており、最初に部落問題を知って以降さまざまな認知経路から知った内容が差別解消に働くものであったと推察できる。

【考察】

◎ 質問 10 の「被差別部落」や「部落問題」の最初の認知時期としては、ほとんどの町民が高校生の頃までに認知している。質問 11 の最初の認知経路としては、部落問題の情報は学校や公的媒体そして「父母や家族」など身近な人間関係の中で認知されている。40 才代までは「学校の授業」で、50 才代以上は「父母や家族」から知った人が多いのが特徴的である。これは、学校で同和教育が取り組まれるようになった時期と関係があるといえる。

最初に聞き知った内容をどのように感じ受け止めたか、そして最初に知って以降の認知経路、認知内容はどうかを明らかにすることが必要である。それは、部落差別意識の再生産過程を明らかにすることである。

クロス集計結果から、家庭において、結婚にかかわる部落差別意識が再生産されているという側面は否定できない。しかし、初めて部落問題の情報を認知し、そしてその後さまざまな認知経過から知った内容により部落差別意識が再生産されているとは言い難い。これは学校、職場、地域における人権・同和教育、人権啓発の継続した取り組みの成果であり、同時に今後とも取り組むべき課題でもある。